



# 財田のむかしばなし ゆかりの地めぐり



▲3月10日（日曜日）、財田町公民館とまちづくり推進隊財田、財田のむかしばなし伝承の会の共催事業である「財田のむかしばなしゆかりの地めぐり」を開催しました。この講座では、財田の文化財や名勝に伝わる逸話や昔話の伝承を目的とし、実際にゆかりの地を訪ねて学びます。

今回のゆかりの地は、石野地区にある「<sup>たにみち</sup>溪道神社（<sup>竜王</sup>竜王神社）」「<sup>よのなかざくら</sup>世の中桜」「<sup>あゆがえり</sup>鮎返りの滝」です。財田町内外から子どもから大人までの35名と一緒に道の駅たからだの里を出発し、徒歩で向かいました。



▲「財田誕生ものがたり」と「谷道龍王」の紙芝居を金山郁子さん、文郁さん親子と伝承の会メンバーが披露。「たからだ」という地名を賜った背景に、溪道神社が深くかかわっていました。



▲溪道神社（竜王神社）では8月14日に「さいさい踊り」と呼ばれる雨ごい踊りが奉納されています。地元の澤井香さんと秋山勇さんに、口上の読み上げ、説明をしていただきました。



▲鮎返りの滝には弘法大師が砥石で研いだという逸話があり、この地域は転じて「戸川」とよばれています。



▲世の中桜では小野詔子さんにお話しを伺いました。弘法大師の使っていた杖であるともいわれており、桜の花の咲き具合で五穀の豊凶を占っているそうです。

参加者の声をご紹介します。

「地域の方のお話を聞くことができ、伝承することの大切さがよくわかりました。大変だと思いますが、続けていくことを願っています。」「話としては何となく知っていたが現地をたどって、よりはっきり感じる事ができ、面白かった。」「財田の歴史を町民に伝える活動は地元に興味を持ってもらえ、定住者を増やすことにつながる良い事業だと思います。これからも期待して参加したい。」

改めて、次世代に語り継ぐことの意義を感じ、今後もこの事業を続けていきたいです。

# ミントクラブ交流会

3月14日（木曜日）、豊中町公民館講座「ミントクラブ（男性コーラス）」が特別養護老人ホーム とよなか荘で交流会を行いました。

ブルーのドレス姿の指揮者とピアノ演奏の先生方、赤の蝶ネクタイ姿のメンバー11名（計13名）が、最初に「思い出の渚」「ブルー・シャトウ」を聴いていただきました。その後、約60名の参加者全員で「ふるさと」を大合唱しました。歌い終えた後「なつかしいわ!」「久しぶりや!」という声が聞こえてきました。



続いて、歌の合間にコーラスメンバーの中野さんによる紙芝居を楽しんでもらいました。よさくどんに助けられたタヌキの恩返しのお話で、中野さんは、登場人物の感情や場面にあわせて声に抑揚をつけた読み方をしてくださり、皆さん紙芝居に引き込まれていました。「いい声してる。」「上手に読んでくれたわ。」「懐かしかった。」と大喜びでした。



最後は、「ふれあい」「気球に乗ってどこまでも」「さよなら」を熱唱して終わりました。とよなか荘のセンター長からは、「コロナがあり催し物などがあまり無くて、今回、素晴らしい歌声が聞け楽しい時間が過ごせました。ありがとうございました。また、定期的にお願ひしたいです。」と嬉しいお言葉をいただきました。参加者からは「次回は、舟木一夫・美空ひばり・八代亜紀の歌がいいわ!」とリクエストもありました。

とよなか荘の皆様とは、わずかな時間の交流でしたが、心豊かなひと時を過ごすことができました。

# 令和5年度 第11回 みとよkidsスタジオ



3月16日(土)第11回「みとよkidsスタジオ」を開催しました！

令和5年度の「みとよkidsスタジオ」が最終回を迎えました。  
毎月、元気に参加してくれる子どもたちの笑顔は「みとよkidsスタジオ」の宝です。  
私たちスタッフは、みなさんから元気いっぱいのパワーをもらい頑張ることが出来ました。  
1年間、参加してくれたみなさま、どうもありがとうございました。  
それでは、今年度最後の活動の様子をご紹介します！  
まずは、ラジオ体操で体をほぐしました。



今日は、四国学院大学の学生の長尾 郁美お姉さんがお手伝いに来てくれました。子どもたちはとても嬉しそうでした。  
それと、今回は、三豊ケーブルテレビさんが取材に来てくれ、元気いっぱいの様子を撮ってくれました。

ラジオ体操の後は、四国学院大学 清水先生による「親子運動遊び」です。

毎回、清水先生から「出来たことをほめてあげてください。繰り返し繰り返しほめてあげてください。」「子どもたちにとって運動能力が発達する時期なので、親子運動遊びは、簡単に出来る運動ばかりなので、日常的に飽きがこないように楽しい雰囲気を取り組んでほしい。」と教わってきました。

最初は、慣れない運動遊びに戸惑っていた子どもたちとお父さん・お母さんたちも今では、親子でふれあい、しっかりとコミュニケーションをとって楽しめるようになってきました。

続いて、郁美お姉さんによる、「からだじゃんけん」遊びです。「最初はグー、じゃんけんぽん！」の「ぽん！」で全身でグー・チョキ・パーのポーズをとります。「グー」は膝を曲げてしゃがむ、「チョキ」は手と足を前後に広げる、「パー」は手足を横に大きく広げます。みんな体全体を使ったじゃんけんでお姉さんと勝負し、大盛り上がりで楽しんでいました。



次に「サーキット遊び」です。

この1年間、子どもたちは遊具あそびの難易度を上げながらも挑戦していくことでどんどんレベルアップ出来たと思います。「できなかった」ことが「できる」ようになることが子どもの自信につながります。これからも難しい動きにもどんどん挑戦し、達成感を味わう喜びを感じてもらえると嬉しいです。



1年間「みとよ kids スタジオ」を頑張った子どもたちに、保護者の方からご褒美メダルを渡してもらいました。満面の笑みを浮かべている子、少し恥ずかしそうな子、いろいろな表情をしながらメダルをかけてもらっていました。その後、おうちの人に「ギュッ！」と抱きしめてもらった時の子どもたちの笑顔に目がウルウル…。歳のせいでしょうか？!



記念写真を撮った後、最後の「チクサクコール」です。今までで一番大きな声で締めくくることが出来ました。この後、スタッフと最後のハイタッチ！可愛い笑顔でタッチをしに来てくれて感無量！ありがとうね～



年間を通して、子どもたちの成長を保護者の方々と一緒に見守ることができ、スタッフ一同、とても嬉しく思います。みんなよく頑張りました！

年長児のみなさん、ご卒園おめでとうございます。4月からは、ピカピカの一年生ですね。お友達たくさん作って楽しんでね♡

令和5年度の「みとよ kids スタジオ」誰もケガなどすることなく無事終了することができました。ご理解・ご協力いただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

☆来年度の「みとよ kids スタジオ」については、市内各幼稚園・保育所等(対象児のみ)から配布される募集チラシをご覧ください。

豊中町・高瀬町公民館共催

## ジュニア走り方・投げ方教室



令和6年3月16日土曜日に新1年生20名を対象にした「ジュニア走り方・投げ方教室」を開催しました。講師に四国学院大学教授の清水幸一氏をお招きし、親子で身体を動かしながら保護者へは家庭教育支援として、正しい走り方や投げ方を体得するためには、どのような遊びを家庭で取り入れるか具体的にご指導いただきました。



走り方ではなるべく片足でケンケンをして、足裏の前側を使い、床を蹴るような動きをすることや、投げ方では両手でボールを持ち、頭上から遠くへ投げることが意識させるとボールが小さくなったり、片手で投げたりする場合でも、自然に肘が上がった正しい投げ方が身に付くと教えていただきました。

清水先生からは「大好きな人のところへ走る。」「大好きな人とキャッチボールをする。これが、子どもたちにとって楽しく、継続して身体を動かして遊ぶことに繋がるので、ぜひ、ご家庭で取り入れてください。」とお話がありました。

次年度も数回ですが、開催する予定です。楽しみにお待ちしております。

みえ先生の食育クッキング♪

# わくわく親子キッチン



▲3月26日(火曜日)、財田町公民館講座「わくわく親子キッチン」を健やかプラザコスモスで開催しました。講師には野菜ソムリエプロ・管理栄養士の清水美詠先生をお招きし、親子で食育クッキングを行いました。参加者は幼児から小学生親子12名。メニューは「かんたん米粉ピザ」「切り干し大根のツナサラダ」「かんたん野菜スープ」「米粉チョコプリン」の4品です。今回は卵・小麦・乳製品不使用メニュー、代わりに米粉を使用したピザがメインです。米粉を発酵させるには酵母との組み合わせが大事ですが、「みえ先生」と一緒に、だれでも簡単に成功できる『はなまるレシピ』に挑戦しました！



## ▲『食べるチカラは生きるチカラ』

この講座では、子どもたちが食生活・食習慣を身につける手助けをし、食べるのが好きで楽しめる子を育むことをめざします。親子・家族で楽しく調理することで、家庭で食について考えるきっかけにしてほしいです。



普段の家庭でのお手伝いの様子が垣間見える親子の会話や、今日初めて会った同士でもしっかりと協力している子どもたちの様子、みえ先生と一緒にみんなの分のピザソースを作ってくれる子など、それぞれが積極的に料理に取り組めていました。

米粉ピザは途中の発酵の時間も含めて、焼きあがるのが少し待ち遠しかったですが、期待以上の出来栄えに参加者からは大満足の声があがりました。

「米粉でこんなにおいしいピザが焼けるなんて。家でもこのレシピでつくってみます。」「今日はスープのレタスも食べられたよ！」

「わくわく親子キッチン」は令和6年度も夏休み・春休みに予定しています。ぜひ、おうちの人やお友達と楽しく食について学び、料理に挑戦してみてください。